

# 生活科学 センター だより

## 地域の見守りで高齢者の 消費者被害を防ぎましょう

近年、高齢者の消費者トラブルが多く発生しています。高齢者のトラブルは本人が被害にあっていることに気づかないことも多く、家族や地域の人たちのちよっとした気づきでトラブル防止に繋がります。

そのためには、高齢者の消費者トラブルの特徴やだましの手口を知っておくとともに、高齢者の心理を理解しておくことも必要です。

### 《高齢者の消費者トラブルの特徴》

- ① 孤独を狙われる  
一人暮らしの場合、優しい言葉で語りかけてくれる販売員のことを「親切な人だ」と感じ、家に招き入れてしまいます。
- ② お金の不安につけ込まれる

ハイ！  
神崎郡消費生活  
中核センター  
相談員です



老後のお金に不安がある高齢者は、販売員の「安くなる」「必ず儲かる」といううたい文句を信じ、契約をしてしまいます。

③ 健康への不安を利用される  
高齢者が抱える健康不安につけ込まれ「痛みが治る」「血圧が下がる」などと言われて高額な商品を購入させられてしまいます。

《そのほかの特徴》  
① 被害にあったことに気づかない  
販売員を信用している場合は、まさか「自分がだまされている」とは思わない場合もあります。

② 複数の被害にあっている  
悪質業者は「だましやすい人」と判断すると、あの手の手で次々と契約を迫ってきます。

③ 被害金額が高額  
高齢者の老後の為の貯金を狙い、言葉巧みに不当に高い

商品売りつけてきます。高齢者の誇りが相談を阻むたとえ被害にあったとわかってても、「だまされた自分が悪い」と自らを責め、人に迷惑をかけないようにと、誰にも相談せずに家族にも隠すケースがあります。

- ④ 家族や地域の人たちの注意点》  
《一緒に暮らしていて》  
■ 家族が知らない荷物や郵便物が頻繁に届くようになった  
■ 入金を督促する請求書が届いている  
【家を訪ねた時に】  
■ 販売員や宅配業者などの来客や、電話が頻繁にある。  
■ 同じような商品が必要以上にある  
■ 不自然なりフォーム工事かしてある  
【会話をしているときに】  
■ 急に親しい人ができたようだ  
■ 特定の話題に、急に詳しくなった  
■ 羽振りのいい話が多くなった  
■ お金に困っている様子が見られる  
【地域で見かけたときに】  
■ 見慣れない人がよく出入りしている  
■ 外出が急に増えたようだ  
■ 見かけない車が頻繁に止まっている  
■ 業態の分からない店や会場に頻繁に出入りしている

高齢者のささいな変化に気づくためにも、身近な高齢者と日頃から挨拶を交わすなどコミュニケーションをはかり、信頼関係を築いておきましょう。そして、高齢者の変化に気づいたら、声をかけ、話を聞きましょう。消費者トラブルと思われる場合は、消費生活センターへ相談を勧めましょう。

消費生活の相談や問い合わせ、苦情は、  
神崎郡消費生活中核センターへ  
(☎22・4977)

秘密厳守 相談は無料  
相談日時 火～金曜日  
9時～16時  
(月曜日は休館日)

## 人権標語

ありがとう つぎはぼくが  
たすけるばん  
福崎小学校1年  
松本風駕

みとめあおうよ！  
みんなちがつて あたりまえ  
田原小学校4年  
菅原心菜

言っているの？ その一言で  
きずつく人がいるよ  
八千種小学校4年  
甘中悠流

つなげよう 笑顔のあいさつ  
笑顔の輪  
福崎東中学校1年  
森内陽向

11月

## マイナンバーカード 休日受付窓口を開設 します

平日の昼間にカードの申請や受け取りに来庁することが困難な人のために、休日窓口を開設します。

事前に電話予約をお願いします

日	時	場所
25日 (土)	9:00 ～12:00	住民生活課 ☎0790-22-0560 (内線371)

問い合わせ先  
住民生活課 町民窓口係(内線371)

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

本年度は、4月18日に全国すべての小学6年生と中学3年生を対象に、小学校は国語・算数、中学校は国語・数学・英語で実施されました。この調査は学力の一部を調査したもので、他の教科等が同様であるとは言えません。

本年度の結果は、下表のとおり小学校は各教科同程度でしたが、中学校はやや高い教科もありました。今後各校の現状を分析し、焦点化した課題の改善に努力していきます。

同時に行われた児童・生徒質問紙について分析したところ、「地域の行事への参加」は例年と同様に全国平均を大きく上回っています。また、「地域や社会をよくするために何かしたい」という思いが成長とともに高まっていることは、地域の中で子どもたちが育っている現れです。

今後も日々の授業を大切にしながら、子どもたち一人ひとりの学びの意欲を向上させる手立てと指導方法のさらなる改善を図ります。そして、主体的に『学びに向かう力』の育成をめざし、何よりも『わかる授業』づくりに努めます。



## ◆学力調査について

### ■小学校正答率 (単位：%)

	国語	算数
全国	67.2	62.5
兵庫県	67	63
福崎町	68 同程度	64 同程度

### ■中学校正答率 (単位：%)

	国語	数学	英語
全国	69.8	51.0	45.6
兵庫県	69	52	47
福崎町	72 同程度	59 やや高い	47 同程度

○正答率の全国平均より±5.0%以内は、「同程度」となっています。

## ■児童・生徒質問紙より (抜粋) (全国平均と比べ、非常に高ければ◎、高ければ○、低ければ△)

項目	小学校	中学校
今住んでいる地域の行事に参加している	◎	◎
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	○	◎
人が困っているときは進んで助けている	○	○
人の役に立つ人間になりたいと思う	○	○
学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つ	○	○
自分にはよいところがあると思いますか	△	○
家で自分で計画を立てて勉強している	△	△



### ◎総括◎

- ①知識技能を主とする基礎学力の定着は図れている。思考力、判断力、表現力等に関して「書くこと」に課題が見られる。
- ②成長に伴い、地域のために何かしたいという「ふるさと意識」の醸成が図られている。
- ③「人が困っているときには進んで助ける」という道徳的実践力が向上している。
- ④各教科を「好き」にする工夫が必要である。
- ⑤「主体的に学ぶ力」を育成する必要がある。
- ⑥将来の夢や目標を持つ子どもを育てる。

### ◎今後の対応◎

- ①さらなる基礎基本の習得に向け、「福咲学<sup>ふくさき</sup>力アップタイム」の充実や複数指導体制の確立により、個に応じたきめ細かな指導の徹底に努める。
- ②読み手の立場に立って、自分の考えが伝わる書き方の指導に力を入れる。
- ③教育活動全体を通して、道徳的実践意欲と態度を育成していく。
- ④家庭との連携を密に自宅学習の取り組みにおいて主体的な学習の習慣化を図る。

(福崎町教育委員会)

# 三福崎町文化財だより

84

福崎町教育委員会  
柳田國男・松岡家記念館  
神崎郡歴史民俗資料館

特別展示

## ふすまの中から見る三木家

下張り文書調査から  
わかってきたこと

三木家住宅では主屋の保存修理工事や副屋・離れ等の改修工事で、ふすまや土壁の中から多くの下張りが発見されました。紙が貴重だった頃の下張りには、帳簿や手紙、書付<sup>かきつけ</sup>などの使い古した不要な紙が再利用されています。当時の人が残そうと思っ

て残した記録ではありませんが、現在の私たちにとっては昔の人のびとの暮らしを知るための大切な宝になります。

本展では三木家の下張り文書を公開するとともに、調査を行うことで、ふすまの中から見えてきた三木家や地域のようすを紹介しています。

入館料無料  
12月3日(日)まで開催!

- 会場 三木家住宅 主屋
- 開館時間 9時~16時30分(入館は16時まで)
- 休館日 月曜日、祝日の翌日、12月1日(金)

### ふすまの中身は?

和室の建具<sup>たてぐ</sup>の一つであるふすまは、木で作られた骨組みの両面に紙を張って作られています。私たちが目にするのは絵画や書などが貼られた表の面<sup>おもてがみ</sup>(表紙)ですが、この下には和紙が何層にも張られ、ふすまを補強しています。この表紙の下に大量に張られた紙を「下張り」と呼び、紙が貴重であった時代には、不要となった紙(反古紙)が再利用されていました。



改修工事前の離れのふすま

### 下張り文書の調査作業の流れ

古いふすまはそれ自体が貴重な歴史資料です。下張り文書をはがすには、きちんと記録をとる必要があります。

①ふすまの付番と写真撮影  
ふすまに番号を付けて写真を撮ります。ふすまの枠木から下張りを取り出します。



今回はカッターで切れ込みを入れて下張りを取り出し、まくりの状態にしました。



ラベルには「ふすまの番号」「ふすまの表・裏」「〇層目の〇番」を記入します。

②下張り文書の記録

文書がどこに、どのように貼られているかスケッチや写真で現状を記録します。

③ラベルを貼る

文書の一枚一枚に和紙で作ったラベルを貼ります。一層分貼り終わったら、写真撮影します。



破らないようにはがしていきます。

※②~④の作業を各層ごとに繰り返します。

④下張り文書をはがす  
乾いた状態で竹べらなどを使ってはがしていきます。糊が強く無理な時は、霧吹きなどで湿らせて、糊をふやかしてからはがします。





『萬地下払帳』(寛文5年(1665))の下張り

**三木家の下張り文書**  
一枚ずつはがした下張り文書は神戸大学地域連携センターとの共同研究で調査を進めています。これまでに「寛文」(一六六一〜七二)の年号が書かれた文書も見つかっており、明暦元年(一六五五)に辻川に移り住んだと伝わる初期の三木家のことが下張り文書から新たにわかるかもしれません。いと期待されます。



井ノ口村出身の日本画家・藤本煙津の絵が張られた下張り。落款もありますが、なぜか不要な紙として下張りに利用されていました。

**三木家資料保存ワークショップ「下張り文書はがし作業」**

日時 11月12日(日) 10:00~11:30  
場所 三木家住宅展示兼収蔵施設(三木家住宅東側)  
対象者 小学校高学年以上(定員10名程度)  
申込先 社会教育課(内線256) **無料・要申込**

三木家の下張り文書は、地域の皆さんと一緒に「はがし作業」を進めています。下張り文書をはがす際は、古文書を読む必要はありませんので、大人から子どもまで誰でも簡単に挑戦できます。  
作業は定期的で開催していますので、興味を持たれた方は、ぜひお気軽にご参加ください。

**三木家入門講座のご案内** **無料・申込不要**

三木家下張り文書から見えてくる三木家と姫路の本屋さんの交流、江戸時代の出版文化の広まりなどわかりやすくお話いただけます。  
演題 襖からのぞき見る江戸本屋の営み  
日時 11月12日(日) 13:30~15:00  
講師 石橋知之さん(神戸大学大学院人文学研究科博士後期課程)  
場所 三木家住宅主屋

**歴史民俗資料館だより**

**神崎タイムスにみる福崎**

今回のテーマは「広告」

「神崎タイムス」は、昭和24年〜昭和43年にかけて発行された神崎郡唯一の郷土紙(新聞)です。

「神崎タイムス」は、昭和24年〜昭和43年にかけて発行された神崎郡唯一の郷土紙(新聞)です。神崎タイムスの広告は全国紙と異なり、地域の商店の店名・品名・値段まで、詳細な情報を追うことができるため、当時の福崎の様子について詳しく知ることのできる資料となります。

本展では、神崎タイムスの広告の特徴のほか、広告にみる四季や時流といった角度から、郷土紙ならではの昭和の福崎の情報を読み解いていきます。

**12月10日(日)まで開催**



▶「読者の絶対多い神崎タイムス」での広告掲載をすすめています

**\*\*\*\* 柳田國男・松岡家記念館 令和5年度秋季企画展講座 \*\*\*\***

企画展の開催に伴い、松岡操・たけについて、当館顧問で、東京学芸大学名誉教授の石井正己先生にご講演いただきます。

演題:「松岡家の教育力」  
講師:石井正己 先生  
日時:11月18日 13:30~15:00  
場所:歴史民俗資料館2階  
お問い合わせ ☎22-1000



# 大庄屋三木家

よもやま話

第86話



## 福崎の身近にある歴史を掘り起こそう

### 地域連携センター共同研究報告

#### 『大庄屋三木家住宅の襖の下張文書②』

神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 井上 舞

現代の日本は、住民基本台帳制度で居住関係を、戸籍制度で夫婦や親子、兄弟などの親族的関係を公証しています。これらの制度に基づいて、引っ越しなどで現住所を離れる際には、市区町村の役所で住民票を移す手続きが必要になります。また出生や死亡、婚姻や離婚などで戸籍の記載内容に変更があった場合も、役所への届け出が必要になります。そして役所では、これらの情報をもとに、人口の増減を把握したり、ワクチンの接種券を送付したり、住民税を徴収しています。

江戸時代もまた、人々の移動を管理するシステムがありました。今回は、その一端がわかる下張り文書を紹介します。



この下張りは、三木家住宅の新座敷に使用されていた襖から発見されました。現在、4層目までの調査が終わっています。さまざまな文書が使われていますが、1層目は主に縦帳（一枚の紙を縦半分に折って、折り目でない方をこよりなどで綴じて作った帳面）、2層目・3層目は横帳（一枚の紙を横半分に折って、左側を綴じた帳面）の綴じを外したものが多く使われています。写真は1層目の下張り文書

です。この文書は下地骨に直接貼り付けられていたため、その痕がくつきりと残っています。下地骨にサイズをあわせるためか文書の上端は切断されています。写真では見づらいますが、中心に折り目があり、両端に穴が空いていることから、もとは縦帳であったことがわかります。さて、内容を見てみましょう。写真の文書を含め、この層には類似の内容を持つ文書が複数残っていました。いずれも女性の婚姻・離婚に関する文書です。

右側の文書は、吉田村（現福崎町南田原吉田）の善太夫の息子久兵衛に嫁いできた「市」19歳の、左側は同じく吉田村の市兵衛に嫁いだ「つね」41歳の「旦那寺」の変更に関するものです。右側は破損箇所が多いので、左側の文書を読んでみましょう。

吉田村市兵衛の女房つね

(41)は、山崎組西治村の●(上部切断のため不読)の娘で、同村の蓮華寺が旦那寺でしたが、この度嫁ぎましたので、市兵衛の旦那寺である山崎組西谷村の浄土真宗寺院順教寺に加えていただきたく、お願い申し上げます。

文書に記された年号は享保19年(1734)。作成は川辺組大庄屋藤右衛門となっております。三木家が辻川組の大庄屋役を命じられたのは元文2年(1737)以降です。

大庄屋が管轄する組は、原則として大庄屋が居住する村の名前が使われます。三木家で初めて大庄屋に任ぜられた三代当主・善政以前は、川辺村(現市川町)の藤右衛門が大庄屋を務めていたようです。(組の名前が変わるだけで、組に含まれる村々は同じです。)

江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり、人々をいずれかの寺に所属せよとしました。そして、各村では村人がどの寺に所属しているのかを記載した「宗門人別帳」を作成していました。婚姻などで旦那寺が変わる場合には、現居住

村の庄屋と嫁ぎ先の村の庄屋との間でやりとりが行われ、もとの村の人別帳から名前が除かれ、嫁ぎ先の村の人別帳に書き加えられました。実際のやりとりは「送り一札」などと呼ばれる、一枚ものの文書によって行われます。今回発見された下張り文書は、そうした人別送りの控であったと考えられます。また、村と村とのやりとりとは別に、寺院間でも旦那寺変更の手続きが行われていました。

なお、この襖の下張り文書からは21件の旦那寺の変更届が確認されました。うち2件は「不縁(離婚)」に関するものです。また、文書にはそれぞれ女性の年齢が記されていますが、最年少は16歳、最年長は今回紹介する文書に登場する「つね」41歳。半数以上は江戸時代の平均初婚年齢である14歳〜22歳を超えています。江戸時代の離婚率と再婚率はかなり高かったようで、この文書に登場する女性たちも、再婚の女性が多かったのかもしれない。

# 第10回子どもふるさと展 開催中!!

今年も、柳田國男ふるさと賞の優秀作品を展示しています。福崎町内の小・中学生の力作をぜひご覧ください。

**一期** 柳田國男・松岡家記念館2階会議室  
11月26日(日)まで開催中

**二期** 福崎町立図書館メディアルーム  
12月2日(土)から12月24日(日)まで

問合せ 柳田國男・松岡家記念館 (☎22・1000)



## 日本民俗学会 研究奨励賞授与式

福崎町では、日本民俗学会研究奨励賞に副賞を贈っています。この賞は35歳未満の次世代の民俗学を担う若手研究者へ授与されるものです。

今年、真柄侑さん(東北学院大学大学院)の論文「戦後農政における展開と人びとの向きあい方―岩手県紫波郡紫波町片寄漆立の「志和型複合経営」をめぐる一―」

ならびに、黛友明さん(香川県立ミュージアム主任学芸員)の論文「伊勢大神楽の支配頭と太夫組織」が受賞されました。



教育長と日本民俗学会会長と受賞者の真柄さん(黛さんは欠席)

10月21日(土)に成城大学で開催された日本民俗学会第75周年会における研究奨励賞授与式で、福崎町賞をお贈りしました。なお、受賞論文は柳田國男・松岡家記念館などで閲覧できます。

## 岩田健三郎さんの版画教室

今年も岩田健三郎さんによる版画教室を開催します。版画で手作りの年賀状を作ってみませんか。

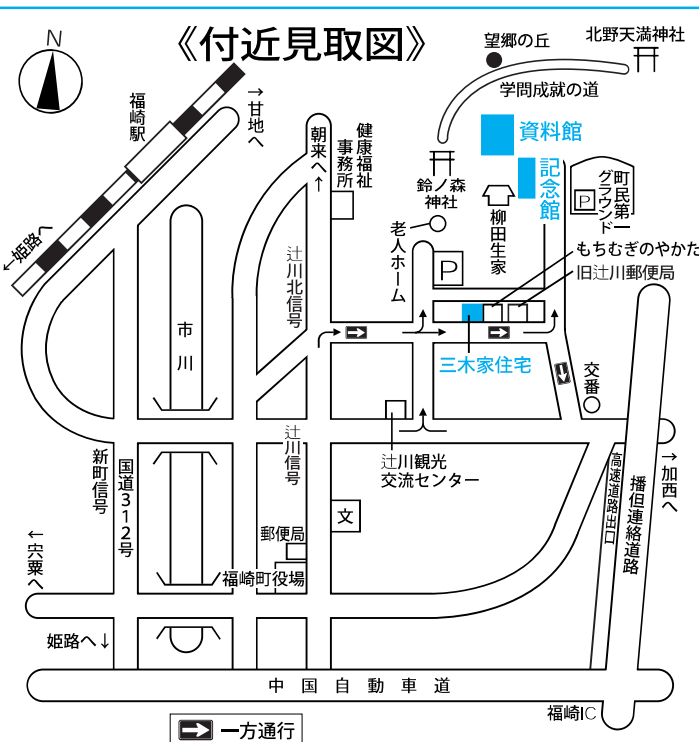
日程 12月3日(日)  
時間 13:30~  
場所 歴史民俗資料館2階  
材料費 200円  
持ち物 筆記用具、彫刻刀  
定員 20名  
問合わせ 柳田國男・松岡家記念館 (☎22-1000)

## 11月は文化財保護 強調月間です

文化財は、地域の歴史を伝えてくれる大切なものです。かけがえのない郷土の歴史遺産を、これからも長く未来へ守り伝えていきましょう。



町指定文化財(彫刻) 木造文殊菩薩坐像(加治谷)



### 柳田國男・松岡家記念館 歴史民俗資料館 利用案内

開館時間 9時~16時30分  
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜の場合は開館)、12月28日~1月4日  
入館料 無料  
交通 JR播但線で福崎駅下車、タクシー約10分。車は播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号を利用。

福崎町文化財だより 84 発行 令和5年11月2日  
● 福崎町教育委員会  
福崎町南田原316の1 ☎0790-20560  
● 柳田國男・松岡家記念館  
● 神崎郡歴史民俗資料館  
福崎町西田原108の12 ☎0790-21000 (記念館)  
☎0790-25699 (歴史)

